



夏休みに北高生は様々なチャレンジをしました

7月20日(土)～8月21日(水)までの夏休み中に課外講習や部活動、海外留学、研修会と様々な取組に参加しました。酷暑の中での取組となりましたが、北高生は元気いっぱいに活躍してくれました。各所でお世話いただいた皆様ご協力ありがとうございました。そして夏休みが終わると8月31日(土)に北高祭が開催されます。皆様のご来校をお待ちいたしております。



日本・ベラルーシ友好派遣団2019に参加しました

7月31日(水)～8月11日(日)の11泊12日で、ベラルーシと日本の2カ国間の青少年の交流を促進させ、両国間の包括的関係を更に深めるために、「日本・ベラルーシ友好派遣団2019」が実施され、本校から10名(全県から45名参加)の生徒が参加しました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

日本・ベラルーシ友好派遣団に参加して 米山和花(2年・名取二中出身)

ベラルーシで過ごした12日間は、私に「非日常」とは何か教えてくれました。楽しみよりも不安な気持ちを抱えたまま人生初の海外渡航で、私は海の向こうに素敵な出会いをたくさん見つけることができました。ベラルーシの子供たちはとてもフレンドリーで積極的にハグやハイタッチを求めてきました。はじめこそ戸惑いもありましたが、温かい歓迎にすぐに慣れることができました。毎日の日程に健康プログラムとたき火、ディスコが組み込まれていたことで、より現地での生活に順応し、コミュニケーションを図る時間を多く確保することができました。ディスコは日本のイメージと全く異なるもので、広場に同年代の人がたくさん集まり曲に合わせて自由に踊るというストリートのようなもので、恥ずかしい気持ちを捨てて踊って楽しめないともったいないと思うほどに貴重な経験でした。活動は、野外でのアクティビティを中心にスポーツ大会やボート乗船、博物館見学、異文化交流など多岐にわたり、特に最終日に行われたプレゼンテーションと、浴衣での交流会が印象深く、半年間練習してきたプレゼンで「Japanese Pop Culture」と題して発表し、想像以上の反応に「やって良かった」と感じました。チームで成し遂げた達成感を皆で共有することができました。他校の生徒や現地の人たちと過ごす日々は、私にとってこれまでにない刺激的なもので、何にも代え難い経験をしたと感じています。お金では買えない大事な「何か」を得ることができました。初日の不安を掻き消すような、最終日の名残惜しさや、身をもって体験した「非日常」は、なかなか経験することのできないことで、だからこそ出会いを大切に、それを「日常」としていきたいと思います。このような機会を与えていただいた皆様に感謝いたします。



家庭クラブリーダー研修に参加しました

7月25日(木)・26日(金)に東京で開催された全国家庭クラブリーダー研修会に2名の生徒が参加しました。

全国リーダー研修会に参加して

大宮晴菜(1年・亶理中出身)
佐々木里菜(1年・亶理中出身)

私たちは東京都の国立オリンピック青少年総合センターで開催された家庭クラブリーダー研修会に参加しました。各県で行われているボランティア活動や研究活動を教える、発表し合うことで、今後の参考となり、自分たちの課題点を見つける良い機会とすることができました。また、県外から集まる初めてお目にかかる方々との交流で、コミュニケーションがとれるか大変不安でしたが、交流会や歓談の時間をおして他県の情報がたくさん知ることができ、とても良い刺激となりました。47都道府県の高校生が集まる研修会に参加して、とても素晴らしい経験を積むことができました。この経験を今後の活動に活かし、役立てて行こうと思っています。参加された全国の友人に感謝いたします。



茶道部が仙台七夕茶会に参加しました

8月7日(水)に開催された仙台七夕のお茶会に参加し七夕見物のお客様にお茶を差し上げました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

仙台七夕茶会に参加して

横山華(2年・玉浦中出身)

本郷美波(2年・岩沼中出身)

小林聖実(2年・中田中出身)

「令和 Beautiful Harmony」をテーマとして開催された仙台七夕茶会に参加し、七夕見物の一般のお客様にお茶を差し上げました。会場は、梅・堇・桜の令和カラーで彩られ、東北六県の茶道具と伊達政宗公の詠まれた歌の掛け軸、そしてお菓子「天の川」でお客様をお迎えしました。少し緊張しましたが、他校の生徒の皆様と共に多くのお客様をおもてなしすることができました。この貴重な経験を文化祭や今後の活動で活かしたいと思います。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



増田公民館で写真展を開催しました

7月8日(月)～29日(月)までの期間、仙南にある高等学校4校が合同で写真展を開催しました。本校からは32作品を展示しました。ご来館いただきました皆様ありがとうございました。

増田公民館展に参加して

大谷梨紗(3年・岩沼西中出身)

私たち写真部は、新築・移転した増田公民館で白石工業高校、岩沼高等学園、柴田農林高校と合同で写真の展示をさせていただきました。初めての公民館への展示だったので多くの方にご覧いただけたのか不安でしたが、多くの方にご来館いただき、写真を見ていただけたことで幸せを感じました。また、写真部員にとっても他校の写真を見ることで多くの刺激を受けることができました。参加することができてとても有意義なものになりました。ご来館いただきました皆様、ありがとうございました。



保育所実習を行いました

7月30日(火)・31日(水)に家庭科の授業の一環で本校生徒12名が増田保育所での実習を行いました。保育所の職員の皆様お世話いただきありがとうございました。

保育所実習に参加して

高橋果那(2年・岩沼中出身)

私は家庭科「子どもの発達と保育」の授業の一環で、増田保育所において保育実習を行いました。実習の目的は、子どもとの適切な関わり方や子どもの発達の特徴を知ることです。私は4歳児クラスを担当しました。とても元気のいい子どもたちで、積極的に話しかけてくれたので、楽しく過ごすことができました。実習後の反省会では、保育所の方からいろいろな話を伺うことができました。今回の実習で学んだことを将来につなげていきたいと思いました。増田保育所の皆様、このような機会をいただき有り難うございました。



今月は、名取北高校に隣接し、医薬品の卸売業等を営む「株式会社バイタルネット」にお勤めの田中和之様をインタビューしました。バイタルネットにお勤めの皆様には、本校と共に歴史を歩み、本校を常に見守っていただいております。田中様は亘理町のご出身で、東北学院大学を卒業後、バイタルネットの前身である株式会社「鈴彦」に入社され現在に至っております。

つなぐ「命」と「感謝」の心

株式会社バイタルネット総務部 田中 和之様

Q 今のお仕事は?
 A 現在は、医薬品とは無関係の部署、管理本部総務部で管財業務を担当しています。

Q お仕事の意義や魅力は?
 A 私が入社当時、日直業務にあたっていた時、医療機関に「ママシ」に噛まれた患者さんが緊急搬送され、当社に抗毒素血清の至急配達の要請がありました。当時、名取物流センターには本品の在庫が無く、最寄りの支店より至急取寄せ医療機関が要請したバトカーの先導で無事時間内に医療機関に届けた事がありました。日直業務にあたっていた社員一同がホッと安心した事を覚えています。改めて当社の業種は命に係わる仕事だなど再認識した事を思い出します。また、東日本大震災時にも多くの社員が大変苦勞をしながら、使命感を持って医薬品を多くの医療機関等に届けていた事はもちろんの事です。

Q 日頃から心がけていることは?
 A 私は定年退職後、再雇用として現在も勤務いたしておりますので、健康に注意をして規則的な生活を送ることを心がけています。楽しみは、週末に孫の顔を見ることです。

Q 北高生の印象は?
 A 部活動で、弓道場を良く目にする機会がありますが、的を射とめた時は音を聞くと直ぐわかります。同時に周りの部員の掛け声も響きが良いです。また、剣道部の皆さんの気合の入った掛け声には元気を貰います。そして、生徒のみなさんがランニングしている近隣沿道の清掃活動には感謝を申し上げます。

Q 北高生にメッセージを!
 A 多感な時期の生徒の皆さんは、周りの方へ心配を掛ける事もあるかもしれませんが、成長の過程においては必要な時期でもあるでしょう。ただ、毎日心配や応援をしてくれている両親・家族、そして先生方等の周りの方に対し「ありがとうございます」「ごめんなさい」と言える素直な心を大事にして下さい。そして、辛い時には自分の力を信じて耐えられる人になってほしいと思います。そのような志を持って今後も自分の目標とする将来に向かって高校生活を送って頂きたいと思っています。



同窓会が開催されました

8月10日(土)にホテルJALシティ仙台を会場に、令和元年度名取北高等学校同窓会総会が開催されました。郷内知明同窓会長から「令和元年の記念すべき年の同窓会が開催されることに感謝申し上げ、今後の同窓会がますます発展するために様々な取組を考えたい」と挨拶があり、参加された皆様は、時がたつのも忘れて40年の歴史を振り返る機会となりました。参加された多くの皆様ありがとうございました。

